

令和3年度 さいたま市立浦和中学校・高等学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立浦和中学校・高等学校
学 校 運 営 協 議 会
会長氏名 大久保 悦子

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

○高等学校の評価

- ・高校教員による中学授業や中学校の夏休み補習に高校生が参加するなどの取組は中高一貫校ならでは、今後も継続して行ってほしい。
- ・ICT教育の充実に関しては外部講師の研修等による教職員のスキルアップが急務。教育面だけでなく各分掌の組織運営の改善等にも効果が期待できると考える。
- ・iPadを使った授業は多様な意見を交換できる等とてもよい取組だと思う。今後更に活用の幅が広がることを期待する。
- ・新学習指導要領を全教員が丁寧に確認し、生徒が更に質の高い学びができるように努めて行ってほしい。
- ・進路面は相変わらず素晴らしい結果。生徒が志を高く持ち、第一希望を諦めずに挑戦していってくれることを期待する。
- ・副担任制の導入は先生と生徒の双方に利があったと思う。進路に関する面談では担任と副担任、進路指導部が連携をとり今後も生徒が求める情報の提供をお願いしたい。
- ・個人面談を一人当たり年3回以上実施していただけるのは保護者として大変ありがたい。
- ・生徒の不安や悩みにしっかり対応しているからこそ、安心した学習環境の保障が成り立っているのだと思う。
- ・コロナ収束後の部活動本格再開に向けて、教職員のワークバランスを踏まえた活動計画を進めていく時期に来ているのではないかと。
- ・縮小でも行事や部活動の実施ができたことは、生徒にとって大きな経験であったと思う。
- ・コロナ禍でも柔軟かつ継続性を持って可能な限り国際理解教育を推進されていることに敬意を表したい。
- ・国際交流・地域交流ともコロナ禍で変更した部分を元に戻す時の労力は大きなものと考えている。以前の交流に固執せず、新たな方法でも良い物は導入していくべきと思う。
- ・修学旅行や国内行事等で留学生と交流できたことは、生徒達の自信と向上心の高まりにつながったのではないかと。
- ・e-paを使用して情報発信が積極的に行われ、保護者も学校の事を確認できてありがたい。
- ・市高ブログは、日頃の学校生活の様子が伝わり、見ていて楽しくなる。部活動についても更新間隔が短いので、熱心さが伝わる。
- ・開かれた学校づくりの推進は今後も力を入れてほしい。地域との連携は大事と考える。

○中学校の評価

- ・高いレベルの教育環境を維持し、生徒の豊かな学びを保障していることが伺える。
- ・子ども達一人ひとり最適なサポートを継続的に行っていただければと思う。どんな状況でも選択肢はあり、未来（希望）があると、ご指導いただけることを願う。
- ・年3回のカウンセリングワークは今後も継続して行ってほしい。
- ・アンケートから、中学校生活に満足している生徒が多く、好ましい。
- ・今年度試行した夏期講習における内進高校生による中学生への学習サポートをはじめとする中高一貫の取組を、今後も模索していきたい。
- ・自己学習力について、高校進学へ向けても大きな課題であると考えている。来年度、取組の工夫・改善を行い、課題を解決できるようにしたい。
- ・校長の学校経営方針を踏まえた教育活動が展開されていると思う。下級生に対して「3年生を見習いなさい」と言えると思う。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

貴重なご意見をいただき、来年度に向けて本校の教育活動の充実のため参考にさせていただきます。

校長氏名 吉野 浩一